

23th 福岡デザインアワード

FUKUOKA DESIGN AWARD 2021



受賞商品集

／ ブレイクのきっかけが
／ ここにある！

ビジネスチャンス
をまねく
ステージ。

福岡デザインアワード（FDA）は、1999年に創設され「ものづくりにデザインの力を！」をテーマに、優れたデザインを評価、発信するコンペティションです。FDAで求められているのは「ビジネスチャンスをまねく商品」美しい、カッコいいだけでなく、確かな技術力や機能性、受け継がれてきた伝統を明日に伝える強いコンセプト、自然や地域社会との共生。

それらの要素をうまく伝えるデザインが一体となったものが、これからのビジネスに必要な「まねく商品」です。

GOOD
DESIGN



IS
GOOD
BUSINESS.



右_ビジネスの相手として、積極的に商品について質問をする唐池会長。開発秘話に興味を尽きず各出品者の話にじっくりと耳を傾けた 左_受賞企業15社にはさらなる飛躍の願いを込めて、オリジナルの招き猫の置物が贈呈された

右_「ビジネスチャンスを招く」というコンセプトで作られた招き猫のトロフィーは大賞企業にのみ贈呈される 左_各地域で生まれた商品一つ一つを手に取り、地域産業の成長を実感する服部知事。一次審査を通過した出品者にねぎらいの言葉をかけた

ものづくりに デザインの力を

福岡デザインアワードを受賞された企業ならびにデザイナーの皆さまに、心からお祝い申し上げます。

経済のグローバル化、社会のポータル化はもとより、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの仕事の在り方や生活様式は、大きく変わりつつあります。このような変化の中で、皆さまがビジネスを継続し、発展していくためには、消費者のニーズに応える社会の課題を解決する、また新しい価値を生み出すデザインの活用が重要であると強く感じています。

福岡デザインアワードは、ものづくりにデザインの力を生かすという趣旨のもと、1999年にスタートし、今回で23回目を迎えました。

これまでに延べ2322社に応募をい

ただき、726点の商品を表彰してまいりました。受賞をきっかけに多くの商品が市場で評価され、販路を開拓されています。他にも、商品開発の過程で生じた問題の解決を目指すデザイン開発ワークショップや、アワード受賞後の販路拡大に向けた商談力セミナーの開催など、デザインの活用に関する総合的な支援に取り組んでいます。

福岡はデザインを学ぶ環境が充実しており、多数のデザイナーが活躍している全国有数のデザイン集積地です。この強みを生かしてコロナ禍の影響を受けた県経済に活力を取り戻していきたいと思えます。今後もこの福岡デザインアワードを通じて、皆さまがビジネスチャンスをつかみ、福岡から日本全国、そして世界に飛躍していくことを心から願っています。

第23回福岡デザインアワード受賞者の皆さま、誠におめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響による大変厳しい経済環境が続く中、全国111社から123件の応募をいただきました。コロナ禍に負けることなく、デザインビジネスに挑戦されている企業の皆さまに敬意を表します。

今年にはコロナ対策のため、最終審査の展示や立会に制限をかけたさせていただきました。一方で、皆さまの商品をより多くの方に知っていただけるよう、福岡県庁での現物展示のほか、商品紹介動画の撮影、インスタグラムの投稿などオンラインでの情報発信に取り組みしました。企業の皆さまにも拡散いただいたおり、アフターコロナを見据えた新しいアワードへと変わりつつあります。

デザインの力を ビジネスの力に。

今回の大賞は、福岡市で金属加工業を営む有限会社リナシメタリ様と、宗像市のデザイン企業の株式会社 Industrygraphy 様の共同開発による「Titanium Spoon Series」が受賞しました。高度な金属加工技術とデザインのコラボレーションにより、新しい価値を実現した製品で、チタン加工技術の可能性も含めてビジネス全体が高く評価されました。このようなデザイン活用の好例がもっと増えていくことを願っています。

福岡県産業デザイン協議会では、アフターコロナに向けて、福岡デザインアワードそのものを、より良いものにデザインしていきたいと考えています。皆さまには今後の福岡デザインアワードにご期待いただくとともに、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

唐池 恒二

福岡県産業デザイン協議会 会長
(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長)

福岡県知事 服部 誠太郎





右_受賞企業は15点まで絞られる。多くの魅力的な商品に議論も熱を帯びる 左_受賞企業15社全員で記念撮影。大賞50万円、金賞5万円、銀賞1万円の賞金が贈呈された



福岡デザインアワードは、
デザインビジネスを通して
地域の未来を明るくする

ビジネスプラットフォームを目指しています。

最終審査会では、有識者、デザイナー、流通関係者など様々な分野から計12名の審査委員が選ばれ、7つの審査基準をもとに出品者へ直接ヒアリングが行われます。ヒアリングの内容は審査委員で共有され、慎重な検討の上、受賞商品が決定されます。様々な分野の専門家の視点やアドバイスは、今後の商品のブラッシュアップに繋げることができるよう。



Step3

デザインを表舞台に。

県では、コロナ禍における販路拡大支援として、今年度はウェブ上のイベントハブのプラットフォームを活用したウェブ商談会を実施します。大賞及び金賞の企業に対しては、別途、ウェブ商談で活用できる動画の制作を行います。また、審査委員の講評や大賞商品の制作秘話などを掲載した本受賞商品集を作成、今後の販路拡大の営業ツールとして活用いただけます。



Step4

デザインビジネスを
発展させる。

出品することに意味があります。一次審査に提出するエントリーシートには、審査項目があり、商品の魅力やさらに検討しながら客観的に作成することができまます。また、エントリーシートはバイヤーにとっても、商品の魅力を知る重要な資料として活用されるため、出品することは、販路拡大の第一歩となるでしょう。踏み出すだけで、ビジネスチャンスが生まれています。



Step1

デザインビジネスへ
踏み出す

一次審査を通過したノミネート商品50点は、会場でお披露目となり、二次審査が行われます。福岡県が主体となりプレスリリースや記者会見などで広く発信するほか、今年度は商品の紹介動画撮影を行い、文章や写真だけでは伝わらない魅力をデザインアワードホームページに掲載しました。また、県庁11階では10月〜12月にかけて展示会を開催、来庁者へもPRを行いました。



Step2

デザインの
価値を高める。

大賞



両極にある技を

1つにすくいあげた

チタニウムスプーン



Titanium Spoon series
アイススプーン ¥11,000
ディナースプーン小 ¥26,400
ディナースプーン大 ¥27,500

Titanium Spoon series

有限会社リナシメタリ

Design: 株式会社 Industgraphy
奈須田 友也

最新技術と匠の手で生みだす 人に優しい純チタン製スプーン

チタンはステンレスと比べ、約2分の1と軽量、耐熱性に優れ高い弾性を持ち腐食しにくく、無害でアレルギーを起こさない人体への適合性を有する素材である。しかし、それらの優れた特性が原因で切削時の工具寿命が短くなる難削材に分類され、他の金属に比べ高価であった。そのため、航空機や宇宙関連産業・原子力発電関連など限られた分野での部品としての利用が多かったが、近年製造コストの低減化が進んだことでチタンの需要は年々高まり、医療用具、カメラ、腕時計や宝飾品などへの拡がりをみせている。

「Titanium Spoon series」は、チタンの「強度」「軽さ」「耐食性」「耐熱性」「生体適合性」の5つの特質を活かせる日用品のスプーンを実現したものである。スプーンにとって最も重要な持ちやすさの形状と重心のバランスを感性工学評価により追求しながら、持ちたくなる曲面の美しい造形を創り出している。そして、持ち手にとって適切な厚み分布を持った形状とするために、航空機や自動車向けの最新加工技術と匠の手による研磨仕上げによって、チタンの難加工性を克服している。また、特にチタンの「軽さ」「耐食性」「生体適合性」は、高齢者や握力の弱い人や子どもでも小さな力で持ちやすく、カトラリーにも最適である。チタンの製造コストの低減化が進んでいるとは言え、単価はステンレスに比べ高価ではある。しかし「Titanium Spoon series」は、再研磨でチタン特性を損なうことなく新品同様になるなど、生涯さらには何世代にも及び愛着を持って使い続けることができる優れたサステイナブル・デザインである。

デザインディレクター／九州大学名誉教授 森田昌嗣



地元企業が試行錯誤しながら作り上げた。美しく磨かれたスプーンは温度変化が少なく、口当たりもなめらかで食品の味を引き立てる



加工が難しいチタンの加工技術力、高齢者や子どもの小さな力でも使える汎用性の高さが大賞の決め手となった

大賞商品開発ストーリー

Titanium Spoon series

企画・開発・製造・販売：有限会社リナシメタリ
デザイン：株式会社 Industgraphy
鍛造：株式会社三松
研磨：株式会社 エス・ピー工業

最新テクノロジー

職人技

文：若岡拓也 写真：村上智一

上_スプーンを作る際にチタンの棒材を再加熱する高周波コイル。
下_チタンをプレスする際の金型もほとんどを福岡で生産している。この段階に来て、ようやくデジタルデータからリアルに切り替わる。

現場での撮影に「作業服と安全靴の方がよかったかな？」と笑う中村社長。手にしているのはスプーンの素材となるチタンの棒材。RMACREOを用いて結晶制御することで鍛造性と強度を向上できるという。

5 つつもの驚きも凝縮

まばゆいほどの輝きはまるで美術品だ。丸みを帯びたシルエットは美しく、見るからに口当たりが柔らかそう。リナシメタリ（福岡市）のチタニウムスプーンは、つるんとした見た目からは想像がつかないほど、最先端のテクノロジーと職人技が詰まっていて、いくつもの驚きを与えてくれる。

まずは外見とのギャップから。チタン製品といえば、マットな質感のアウトドアのマグカップが思い浮かぶが、このスプーンはどこまでもつややかだ。表面が鏡面のように光を反射して、なめらかな形状を際立たせてくれる。素材を知らさずして気づかないだろう。

次なる驚きは、手に取ったときに分かる。見た目よりもはるかに軽い。ステンレスや銀を想像しているとびっくりしてしまうほどだ。重量感とのギャップである。実際にステンレス製と比べると、半分ほどの重さしかないそうだ。

軽量のスプーンだが、開発までの道の

りは軽やかではなかった。チタンという素材の加工が極めて難しい。薄く成形することも、鏡面仕上げを施すのも一筋縄ではいかない。完成を可能にしたのは「RMACREO」と呼ばれる先端技術だ。航空機、ロケット、自動車向けに開発した新技術である。特殊な機械を使



チタン棒材の性質を RMACREO で改良する。世界初の機械を使用しており、自動車メーカーなどの設計者や大学研究者が実験、試作に訪れている。

い、チタンを加熱した後、急速冷却してねじりを加えることで、金属の結晶が微細化し鍛造性を向上させつつ強度を増す。リナシメタリが開発した技術・設備で、金属加工の三松（福岡県筑紫野市）が処理と設備製作で連携している。

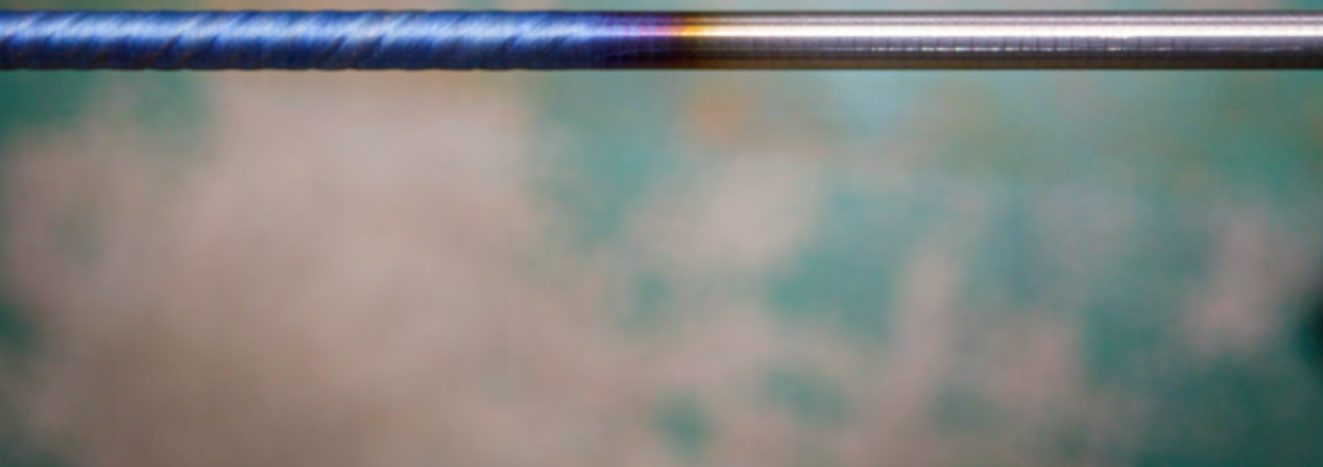
完成には 8 年がかりと長い期間を要

した。難航しながらも、中村克昭社長の粘り強さがあって商品化にこぎ着けることができた。九州大学で金属の結晶制御と塑性加工を学んだ中村社長。卒業後は、小松製作所、TOTO で研究職として活躍した後、九州大学、九州工業大学を経てリナシメタリを設立した。「難しければ難しいほど燃えてしまします。」という研究者肌である。難素材のチタンを使うのも納得だ。

設計、デザインにもテクノロジーが隠されている。デザイン、3Dプリンターでの試作、金型の設計製作、鍛造条件の設定まで、すべての工程をデジタルデータで作業している。

デザインに関しては、九州工業大学情報工学研究院で心地よいと感じる持ちやすさを統計データを集めて分析。筋力の低下した方でも持ちやすく、柔らかな口当たりを感じられるように設計。デザイナーである Industrygraph（福岡県宗像市）の奈須田友也さんは「普遍的に美しく使いやすいことを意識して、言語化しにくい部分をデザインに落とし込みました」と語る。

変色している部分はひねりを加えたことで、ねじれが生じている。RMACREO で鍛造性が向上し強度が増している。



三松の工場にて記念撮影。右がデザイナーの奈須田さん、三松の2人にはさまれる形で中村社長（右から3人目）。



エス・ピー工業でも記念撮影。デザインアワードでの受賞を喜びつつ、「これをきっかけに注文が増えたら生産が追いつかない。どうしよう」とざわめく一幕も。



研磨の仕上がりを指先の感覚で確かめる。わずかな凹凸すらも逃すまいと表情は真剣。素手で触れるよりも軍手をつけている方が、滑り具合で表面の滑らかさを確かめやすい。

上_並べると、どれだけ磨かれたのかが分かりやすい。下_スプーンのくぼんだ部分「つぼ」も研磨機にかける。あのくぼみの中をキレイに仕上げているということがうまく想像できない。



チタンらしからぬ光沢にも秘密がある。美しい輝きを生むのは職人技。金属加工のエス・ピー工業（福岡県大野城市）で、ひとつずつ手仕事で丁寧に仕上げられている。デザインから鍛造までの工程をデジタルで進めているのは対照的だ。

研磨機での作業は至ってシンプル。磨いては、軍手越しに表面の滑らかさを確かめる。そこにあるわずかな手触りの違いを感じとり、また少しづつ磨き上げていく。研磨による熱で高温になると、機械が焼けついてしまうため、温度を気にしなくてはならない。職人的な勘を頼りに、慎重に作業を進めて時間をかけながら形を整えていく。

製造の流れを知ると、まさに工芸品である。漆器であれば、木地を削り出す木地師、塗師、蒔絵師に分かれているように、チタニウムスプーンも分業制だ。完成に至るまで、ほとんどの工程が福岡県内で完結する。

次の目標は大量生産すること。研磨があまりにも難しく、「1日1本でできればいい方」と現場から声が上がっている。難しいから、課題があるから、挑むのが中村社長である。「やれると思っただけは大体できるんです」と自身の研究開発を振り返る。大量生産の実現はそう遠くないかもしれない。

有限会社リナシメタリ

〒810-0022 福岡市中央区薬院 2-14-16-201
Tel. 092-716-7166
<https://www.big-advance.site/s/160/1462>

株式会社 Industgraphy

〒811-3431 福岡県宗像市田熊 3-3-21 吉田ビル 207
nasuda@industgraphy.com
<http://www.industgraphy.com>

株式会社 三松

〒818-0013 福岡県筑紫野市岡田 3-10-9
Tel. 092-926-4711(代表)
<https://www.sanmatsu.com/>

株式会社 エス・ピー工業

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川 3-3-1
Tel. 092-503-0105

金賞

ogi cube

みつばや小城羊羹製造本舗

Design：西日本高速道路株式会社 九州支社
総務企画部 事業開発課
木村有美子

馴染みの羊羹が共創によって
新たな形を与えられた

羊羹は、鎌倉時代に中国から遣唐使によってもたらされたと伝えられている。その後、江戸時代の鎖国政策のもと西洋との唯一の窓口であった出島に砂糖が陸揚げされ、長崎街道（シュガーロード）を経て砂糖が全国各地の文化風土と相まって、明治5年（1872）小城市でも羊羹が創業された。今では「小城市・羊羹の町」として全国で認知されている。この「ogi cubes」は、小城市の市民と

地元企業が共創する「リビングラポプロジェクト」から生まれたコラボ商品の一つとして商品化された。

外側が砂糖でシャリッと固くなる伝統製法（切り羊羹）で、ブラックココア（黒）キャラメル（ベージュ）紫いも（紫）かぼちゃ（黄色）ラズベリー（ピンク）レモングラス&バタフライピー（水色）抹茶（緑）のカラフルな7色と7つの味が楽しめる小粒でキューブ状の羊羹だ。小城市のお土産として、新たな顧客層が広がることを期待している。

（株）リトルストロークス 久保紀子



ogi cube
1袋 ¥540

味も思いも多彩
地元と一緒に作った
7色の一口羊羹

受賞者のコメント

西村和剛さん

みつばや小城羊羹製造本舗

NEXCO 西日本の発起で、小城市の活性化を目的としたワークショップから生まれた商品です。小城市民、地元食品企業4社、福岡地域戦略推進協議会が主体となり、次世代である子どもをターゲットと捉えて、カラフルな色合いと、食べやすく可愛いサイズになるように工夫しました。結果として、幅広い世代に好まれる商品に仕上がりました。

今後も伝統的な部分を残しつつ、世代も時代の変化も越えられるような商品づくりを目指していきます。

金賞

ケロシンストーブ
M214-B

貝原バーナー製作所

Design : 貝原社二



ケロシンストーブ
M214-B
¥66,000

120年前前に開発された 機能美と存在感を 今に焼き付ける

デザインとは、人々の生活の中で
利便性を持って機能するためにある。
1892年スウェーデンで開発された「加
圧式石油燃焼機器」は、現代では使い
づらい物となり姿を消しつつあるが、そ
の機能の持つ美しさ、材質の持つなん
とも言えない風合い、燃焼するまでの過程
など、その味わいは人々の心を温かなも
ので包む。すべて手作業で組み上げ純
国産で製作された本商品はコンパクトに
まとめられ、特にアウトドアシーンで活
躍。同時に手間を楽しむ親和性も手伝
い多くの支持をえている。利便性と手間
がかかるは相反するが、人を愉しませる
力は相応にあり機能していると言える。
伝統の技術を再現するデザイナー力と設
計力は、その歴史を後世に伝えていくだ
けでなく、人々の心も豊かなもので紡い
でいく。

(株) 電通九州 瀧澤勝弘

アンティーク調なフォルムと存在感に

一目惚れして開発 守り続ける純国産の火

受賞者のコメント

貝原社二さん

貝原バーナー製作所

キャンプをしていた時、武井バー
ナー製造のストーブに出会いました。
その美しさと存在感に魅了され、すぐ
に開発を開始。構造の原理から学
び直し、試行錯誤を繰り返して、納
得いくストーブを完成させることがで
きました。これからは、熱を使って発
電できる商品など、災害にも応用で
きるような商品開発をしていきたいと
考えています。



BAMBOO LINE BLOCKS

MODANIS

Design : 本多修三

金賞

竹とともに暮らす新提案
伝統工芸とのコラボレーションで
生まれ変わった竹

私たちにあって身近ではあるが、竹細工や竹炭など活用が限定的だった「竹」が、もともと伝統工芸として存在する久留米の「藍胎漆器」や大川の「木工」のエッセンスを取り入れ、モダンで粋なデザインの装飾素材に生まれ変わった。竹素材を中心に檜やウォールナット材なども組み合わせたブロックタイルにしたこと

で、多種多様で無限大の表現力を持ち、それをあしらった家具やパーテーションは、私たちの生活空間になじみやすく、やわらかで落ち着いた印象を放っている。また、近年問題になっている放置竹林などの「竹害」の課題解決にもつながる新しいSDGs製品でもあり、更に改良を重ねて建築資材として製品開発が進めば、今後の新たな展開も期待できそう。で、「竹」の持つ可能性がまた一つ広がった。

九州旅客鉄道(株) 高橋 晶



BAMBOO LINE BLOCKS
¥7,000 ~

身近にある竹が新たな美しさ
SDGsな室内装飾タイルは
可能性も組み合わせも無限大

受賞者のコメント

本多修三さん
MODANIS

竹と木材を使い伝統とデザインを融合させた商品を作りたいとヒントを探していた時、大分県別府市にある竹細工伝統産業会館で、竹素材の可能性に衝撃を受け、開発に着手しました。この商品は、様々なタイルを自由に並べオリジナルの装飾を作ることが特徴です。

今回のアワード受賞も後押しとなり、ホテルのエントランスに採用されることが決定しました。今後は、海外進出、障害者や高齢者の雇用にも挑戦し、久留米の藍胎漆器と大川木工の発展に寄与していきたいと考えています。

金賞

totte

株式会社志岐

Design : satereo
(佐藤立体設計室)
佐藤圭多



totte
スツール ¥59,000
テーブル ¥40,000

5歳になった君にはじめてのパーソナルスペース

一日の大半をスマートフォンの画面と向き合う生活に慣れた現代人は忘れがちだが、人類の遙か祖先是森で生まれ、森に育まれてきた。だから、そのDNAを受け継ぐ我々も、森に行けば自然に寛ぎ、安らかな気持ちに包まれる。

5歳児からのパーソナルスペースとして開発された「totte」は、内なる森の記憶を呼び覚ます美しい家具だ。椅子の取っ手の手触りは滑らかで心地よく、何度も触ったり、撫でたりしたくなる。

幸運にもtotteと巡り合った子供は、本を読んだり、ジャンプ台にして遊んだりしながら、内なる森の記憶に目覚め、小さな森の王として、自分だけの時空を創造するのだ。

こんな素敵な体験を子供だけに独占させるのは、いかにも惜しい。親も祖母も子供の居ぬ間にtotteを撫でたり座ったり、森に還る心地よさを味わうに違いない。

Brandマーケティング 内田一博

机デビューは

どっておきの心地よさで

受賞者のコメント

西田亮太さん
株式会社志岐

箱物家具が専門でしたので、脚物家具を作ることはリスクもありましたが、福岡県の家具ブランド力向上支援事業に参加したことで挑戦することができました。ノウハウや設備がなく苦労の連続の中、試行錯誤の結果、約1年をかけて完成させることができました。

今後は、キッズ市場への参入や、成長に合わせて使い続ける事ができるサステナブルな商品に改良していき、人や環境に優しい家具づくりを目指していきます。



顔の見える生産者によって大切に育てられた蚕から生み出される絹糸を織り上げる博多織作家だからこそ抱く、端切れや残糸を活かしたいという想い。耳元で軽やかに揺れる様は、繊細

な素材の魅力と表情が十分に引き出され、その想いがデザイン面でも結実したことを示している。伝統的なものを日常の中に息づかせるという観点からも、秀逸なものとなっている。

太宰府天満宮 西高辻信宏



ori ノンホールピアス

CO.COON

Design : 原野真由美

ori ノンホールピアス
¥9,350



銀賞



流行りのグラノーラと侮るなかれ！福津在住・発酵料理研究家でもあるオーナーがこだわりぬいた無添加・グルテンフリー・砂糖不使用という優れたもの。砂糖代わりの甘酒や米・塩・

果物などの原材料はすべて宗像・福津産で、味わうことでその豊かな土地の力・恵みがグッと伝わる逸品だ。何よりカラフルで、「映える」かわいいビジュアルも魅力のひとつになっている。

九州旅客鉄道(株) 高橋晶

むなかた福津グラノーラ

Lien ~リアン~

Design : 山本知美



グラノーラ ¥1,188



小袋/みかん ¥550



こはくかんさ
奈良漬「ヴィンテージ 琥珀神」

有限会社 奈良漬さろん安部

Design : SpearMint
鶴見裕也

ヴィンテージ 琥珀神
¥1,296



奈良漬は、原産地や製造年を指定することは稀で、年ごとに差が出ないよう原料を調整し味味の一定化を図る傾向にある。そんな中、本商品は県内の酒蔵とコラボし酒粕の元となる日本酒

の銘柄や製造年も指定することで、その特徴が如実に表れる造りだ。日本古来の奈良漬の新しい魅力を引き出し、まるでワインのようにヴィンテージの違いを楽しませてくれる商品である。

(株)マクアケ宮田紗良



GYUTTA FUJI

ちっごたる

Design : 九州大学、大連理工大学
城川真実、岡松もえ、徐浩群、蔡天恵、王子凡

GYUTTA FUJI
¥1,100

訪日中国人観光客向けのお土産品として日本と中国の学生が共同でデザイン開発した、ちぎって使用する富士山型の輪ゴムである。富士山の美しいシルエットを

美しいグラデーションは日本の四季さえも感じる配色となっている。輪ゴムという成熟した実用品でありながら、日本らしさをシンプルに表現したお土産品となっていることが高く評価された。

(株)九州情報堂 山田彰

「からだに優しい豆乳クリームバター」シリーズ

株式会社はたえ

Design : 松永美奈子



からだに優しい 豆乳クリームバター
1袋 ¥648

大豆を原料とした「豆乳クリームバター」で、使いやすいスパウトタイプとなっている。100g当たりの有塩バター（乳製品）との成分比較では、コレステロール97%、塩分68%、飽和脂肪酸35%

がカットされている。ベジタリアンや卵・乳製品アレルギーの方や、ヴィーガン食材としてのバターをお探しの方には朗報といえる。より低カロリーで、減塩タイプの商品化も期待される。

(株)リトルストロークス 久保紀子

JOLIE DOG ごほうびかん

ファーストアズール株式会社

Design : 武陽子

ごほうびかん
¥2,970



この商品は、ワンちゃんに對する熱い想いと情熱が様々な工夫され、お客様がわかりやすく楽しい魅力的な商品となっている。ペット薬膳の効能を取り入れた、ワンちゃんの身体に優しく、おい

しいと思える原材料に加え、お客様にもかわいいと思っただけの形状や、色使い、パッケージの絞り具合、シンボル、ロゴマークのデザイン、さらにはリボンによるギフトづかいが秀逸である。

九州大学 清須美匡洋

縞縞SDGs Strong/Light

株式会社 小倉縞縞

Design :
遊生染織工房
築城則子



Strong/Light
¥9,000/m

SDGsの17目標を表した鮮やかな17色のストライプで織られた小倉織は美的で、それだけで充分存在価値を感じる。風呂敷を始め、ネクタイ、ポケットチーフ、エコバッグ等と商品の幅も拡

がり今後の和文化的国際的展開の多様性にも多いに期待できるデザインとして評価した。SDGsへの人々の意識を働きかけてくれるデザインだといえる。

JAGDA福岡 平松聖悟

にゃんボール クラッシュ

有限会社 谷口紙業

Design : 谷口隆史



にゃんボール クラッシュ
¥9,900

猫の特性を把握して作られた「かゆいところに手が届く段ボールハウス」。爪を研いでもいように強化されており、上に乗っても心地よい曲線である。ペット用品にもデザインや機能が問われる時

代を的確にとらえている。ダンボールはリサイクル素材にもなっており、人にも環境にも優しい商品となっているところもポイントだ。想像力を働かせた素晴らしいアイデア商品である。

㈱岩田屋ニ越 佐藤克美

鉸

有限会社江口へら鉸り製作所

Design : 江口聖二



Natural vase
¥4,000~¥10,000

銅板を高速回転させながら、金属棒を押し当てて成形する「へら鉸り」の花瓶は、熟練技が光る継ぎ目のない滑らかな表面と、炙りによる色合いが魅力だ。下請として部品を製造してきた町

工場が、初めてエンドユーザー向けに自主開発した。へら鉸りの技を持つ職人が減るなか、伝統技術とものづくりの喜びを次代に伝えるための記念すべき第一歩といえる。

九州大学 池田美奈子

やまびこレインジャー

キャニコム

Design : 酒井志有斗



やまびこレインジャー
¥9,900,000

日本国土の66%が森林であり、その森林計画が正しく行われることが、山崩れや風水害等による災害を防ぐことになる。その計画の一端をデザインしたのが本商品である。急傾斜地等の勾配

がきつい、アップダウンが多い、旋回するスペースが無い現場で活躍するだけでなく、道幅は最小限で傷つけず使用する。まさに日本の未来をデザインした商品と言えるよ。

㈱電通九州 滝澤勝弘



地域から日本、

そして世界へ発信できる

「デザインカ」の創出に向けて



昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送ったが、第23回福岡デザインアワード2021は、募集から公開審査会、授賞式まで無事に開催することができた。応募件数は、コロナ禍にもかかわらず123件（111社）であった。審査は、2段階で行われた。一次審査では、全応募商品を対象に9名の審査委員が個別に下記の7項目の審査基準で書類審査を行い、その結果を集計し福岡デザインアワードノミネート50件を選考した。ノミネート50件は、最終審査において実物審査と公開審査を行い、審査委員会において知見に基づいて協議を行い、審査基準の複数項目において優れたデザインの商品15件を選定した。銀賞10件、金賞4件、そして最も優れた1件を大賞とした。

○市場性：受け手に対して提供する価値が明確であるか。
○造形性：作り手が伝えようとする商品の価値が、美しくわかりやすく表現できているか。

○機能性：使いやすい形状や構造が施されているか。
○独自性：斬新な発想や高度な技術により作られているか。
○SDGsに対する配慮：地球環境への配慮や持続可能な社会づくりに向けた取り組みであるか。
○安全・安心に対する配慮：品質管理や衛生管理、個人情報の漏洩防止などセキュリティ対策を適切に行っているか。
○将来性：今後の成長が見込まれるか。

今年度は、受賞率が約12・1%と難関であり、金賞と大賞は僅差の選考となった。受賞商品を概観すると、例年よりも生活用品や日用品などの工業製品が多く受賞した。特に大賞の「Titanium Spoon series」に代表されるように、日本人の感性と最新技術と伝統的技術とを融合させ高質で美しい「私たち」に結びつけた商品が多く受賞し、また魅力的で独創性の高い「デザインカ」が多数選ばれるなど、デザイン活用が地

域産業と生活文化を牽引する力となり得ることの証であるといえる。デザイン活用とは、ユーザー観点からのものづくりであり、生活イメージを機能（しくみ）と感性（造形やしかけ）の融合によって商品などの具体的な「かたち」に可視化し、事業に結びつけることである。今年度も福岡県産業界デザイン協議会が推進するデザイン開発ワークショップに参加企業がある企業や本賞の受賞歴のある企業が受賞するなど、23年にわたる福岡県のデザイン推進事業による「継続は力」の成果といえる。今年度は受賞を逃された企業も、デザイン活用による商品開発への積極的な取り組みが多くみられた。地域から日本、そして世界へ発信できる「デザインカ」による地域ブランド創出のために、次年度も多数の意欲的な応募を期待している。



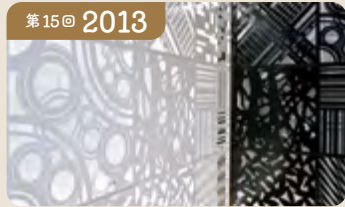
デザインディレクター
九州大学名誉教授
森田 昌嗣



第19回 2017

廃校活用事業「いいかね Palette」
株式会社 BOOK

廃校を活用し永続的施設運営を可能にした地方創生プロジェクト。多彩に成長するビジネスモデルが評価された
応募件数 147 件 (132 社)



第15回 2013

Archi skin
株式会社マイサ

「建物を覆う皮膜」をコンセプトにアルミ製パネルで作られた建築資材。技術面や機能性、新しいビジネスの可能性を広げ、波及効果が大きい点が評価された
応募件数 145 件 (124 社)



第11回 2009

緑茶維新シリーズ T/BAG、
T/POWDER 株式会社つじり

国産厳選茶葉の美味しさを手頃な価格で簡単に飲めるティーバックとティーパウダー。シンプルで美味しいお茶を飲む感動を伝える明解さが評価された
応募件数 152 件 (123 社)



第7回 2005

ecopo
田川産業株式会社

漆喰土壁の特性を活かした焼かない植木鉢の手作りキット。実体験型の学習効果や植木鉢を作る喜びを表現したデザインが評価された
応募件数 100 件 (67 社)



第3回 2001

Life-D
大川ライフデザイン研究所

11 社の大川家具メーカーと福岡のデザイナー・建築家の異分野コラボで生まれた家具。日本人の暮らしに寄り添った人にやさしい造形性が評価された
応募件数 65 件 (57 社)



第20回 2018

一日 20g の食習慣「西利乳酸菌ラブレ」
京つけもの西利

乳酸菌を使用した野菜の漬物。1 週間分がワンバックになったデザイン、企画性、価格努力など、商品開発力が評価された
応募件数 130 件 (122 社)



第16回 2014

ぐっ波斯
独楽工房 隈本木工所

筆記姿勢をよくする教育用具。県産材を用いた技術と人間工学を踏まえたデザインが結びついた福岡発の思いやり商品として結実させた点が評価された
応募件数 189 件 (155 社)



第12回 2010

デザイナーズ防犯カメラ [PF-JT111]
株式会社日本防犯システム

ブランドショップなど多様な設置環境との調和を考慮した“み(見・魅)せる”防犯カメラ。最新技術と造形力を統合したデザインが評価された
応募件数 139 件 (117 社)



第8回 2006

八女手漉き和紙 プリーツ加工紙
松尾和紙工房

半立体のプリーツ加工を施した八女手漉き和紙。平面表現に特化した和紙のあり方を一変させ、多様な生活シーンを創り出す可能性が評価された
応募件数 112 件 (87 社)



第4回 2002

該当なし

応募件数 91 件 (74 社)



第21回 2019

monaca stool シリーズ
株式会社 酒見椅子店

和菓子の「最中」をモチーフに、日本古来の六花の華やぎを纏わせたスツール。令和に相応しい花の心をカタチにしたトータルデザインが評価された
応募件数 157 件 (145 社)



第17回 2015

アイスリットテープディスペンサー
福岡丸本株式会社

微細加工技術を用い、金属刃による課題を解決したテープディスペンサー。デザインや、産学連携の実証実験、社会への新たな提案力が評価された
応募件数 165 件 (145 社)



第13回 2011

ヘアケアビューアーション「椿なの」、
「椿なのリペア」株式会社オーラテック

界面活性剤を使用しない防腐剤無添加のヘアケアビューアーション。“ひとにやさしい”デザインが評価された
応募件数 162 件 (136 社)



第9回 2007

小倉織 縞縞 SHIMA-SHIMA
有限会社小倉クリエイション

途絶えた小倉織を復活させ、機械織により広幅化を実現した風呂敷。現代的な縞柄デザインを取り入れ、クオリティの高い商品を展開したことが評価された
応募件数 100 件 (79 社)



第5回 2003

あんしんなタオル
宮原タオル株式会社

化学薬品を使わない、赤ちゃんからお年寄りまで安心して使えるタオル。商品説明も読みやすく処理されており、一貫したデザインが評価された
応募件数 80 件 (62 社)



第1回 1999

フrootパッキング
株式会社コンデー・マシナリー

電子機器等の品物を発送する際の衝撃から守るために開発された梱包材。エコな素材、簡単で無駄のないデザインが評価された
応募件数 94 件 (61 社)



第22回 2020

該当なし

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止



第18回 2016

博多水引ボトルリボン
有限会社ながさわ結納店

ワインボトルを華やかに飾る博多の伝統工芸「博多水引」のボトルリボン。伝統工芸の美しさと使い勝手のよさを融合させた卓越したデザインが評価された
応募件数 150 件 (127 社)



第14回 2012

柳川まめマヨ
柳川農業協同組合

柳川産大豆フクユタカの豆乳を原料としたマヨネーズ風ドレッシング。商材の魅力を伝えるネーミングやパッケージ、地域ビジネスの可能性が評価された
応募件数 174 件 (139 社)



第10回 2008

TONBY
紙飛行機デザイン工房

世界初、折り紙の特殊効果用紙飛行機。単純な構造ながら安定した滑空を実現。大空に飛ばせるイベントツールとしての可能性が評価された
応募件数 132 件 (106 社)



第6回 2004

DAIDABO
東木工株式会社

木製板材と箱で構成されたユニットによる組み合わせ収納家具。ライフスタイルに合わせて、使い勝手が工夫できる新しい型の家具提案が評価された
応募件数 102 件 (63 社)



第2回 2000

快步主義 KHS L002
株式会社アサヒコーポレーション

歩く楽しさ、快適さを追求して開発された高齢者向けの靴。機能性と造形性のバランスがとれたデザインが評価された
応募件数 108 件 (90 社)



主催 福岡県産業デザイン協議会・福岡県

協賛 九州旅客鉄道株式会社、九州電力株式会社、株式会社九電工、西部ガスホールディングス株式会社、TOTO株式会社、株式会社西日本シティ銀行、西日本鉄道株式会社、株式会社福岡銀行、福岡地所株式会社、株式会社安川電機（順不同）

後援 九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、RKB毎日放送、NHK福岡放送局、FBS福岡放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、テレQ、朝日新聞社、一般社団法人共同通信社、産経新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、株式会社井筒屋、株式会社岩田屋三越、株式会社東急ハンズ、株式会社博多大丸、麻生建築&デザイン専門学校、九州産業大学、九州大学、専門学校日本デザイナー学院、西日本工業大学、福岡デザイン専門学校、（一社）九州アートディレクターズクラブ、一般社団法人日本空間デザイン協会、北九州総合デザイナー協会、公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）、公益社団法人日本サインデザイン協会、公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、一般社団法人九州北部信用金庫協会、一般社団法人福岡県中小企業家同友会、公益財団法人福岡県中小企業振興センター、ジェトロ福岡、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、北九州地域中小企業支援協議会、福岡地域中小企業支援協議会、筑後地域中小企業支援協議会、筑豊地域中小企業支援協議会（順不同）

応募資格 日本国内に事業所等をおく、中小企業者又は小規模企業者等

応募対象 日本国内において製造または販売する商品・サービス等のうち、次の要件を満たしているもの。
①反復生産が可能なもの（部品を含む）
②概ね5年以内に開発されたもの
③現在販売中または今年度販売予定のもの

応募区分 A 衣料・アクセサリ／衣服、バッグ、時計、貴金属など、身につけて使用するもの
B 食品／食材や製法にこだわった飲食に関するもの
C 健康・美容・福祉用品／健康グッズ、化粧品、医薬品、介護用品など身体に働きかけるもの
D 生活雑貨・生活用品／生活用品、文具、玩具など、主に手に取って使用するもの
E 家具・インテリア／家具、畳など置いて使用するもの、照明、カーテンなど空間を構成するもの
F 産業・商業・公共空間機器／OA機器、医療設備など事業活動や公共空間において使用するもの
G 情報・サービス／ソフトウェア、デジタルコンテンツなどサービスを提供するもの
H イベント・地域ビジネス／スポーツイベント、地域行事・催事に関するもの

会期 2021年10月27日（水）11:00-12:00 公開審査／11:00-16:00 ノミネート商品展示会／15:00-16:00 授賞式
会場 福岡県庁（福岡市博多区東公園7-7）

審査委員

審査委員長	森田 昌嗣	デザインディレクター／九州大学名誉教授
副審査委員長	清須美 匡洋	九州大学大学院芸術工学研究院 教授
審査委員	池田 美奈子	九州大学大学院芸術工学研究院 准教授
	内田 一博	iBankマーケティング株式会社 代表取締役副社長
	久保 紀子	株式会社リトルストロークス 代表取締役
	佐藤 克美	株式会社岩田屋三越 マーチャンダイザー
	高橋 晶	九州旅客鉄道株式会社 事業開発本部保険事業部 部長
	瀧澤 勝弘	株式会社電通九州 クリエイティブディレクター
	西高辻 信宏	太宰府天満宮 宮司
	平松 聖悟	公益社団法人 JAGDA 福岡 グラフィックデザイナー
	宮田 紗良	株式会社マクアケ 九州拠点キュレーター
	山田 彰	株式会社九州博報堂 クリエイティブディレクター

福岡県産業デザイン協議会

設立 平成9年11月13日

産業界、デザイナー、行政等が緊密に連携して、デザインを活用した商品企画・開発の促進と、デザイン性に優れた商品の販路開拓を推進することにより、福岡県における産業デザインを振興し、もって福岡県経済の発展に寄与することを目的とする。

会員数 212団体・個人（2021年3月末現在）

会長 唐池 恒二 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長

副会長 西高辻 信宏 太宰府天満宮 宮司

永野 研太 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）福岡地区代表幹事

事務局 福岡県 商工部 新事業支援課

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7

Tel. 092-643-3449 Fax. 092-643-3226

E-mail: design-2@fida.jp URL: <https://award.fida.jp>

福岡デザインアワード2021受賞商品集

編集・デザイン・撮影：村上 智一（JAGDA福岡／IN THE FIELD）取材・文：若岡 拓也（IN THE FIELD）撮影：平川 雄一朗



FUKUOKA DESIGN AWARD